

図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町 市塙147

TEL 0285-68-4380

URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>

としょかんのひとりごと

検索

ブログはこちら

8月の催しもの

※開催には、3密を避けるための対策を講じながら、安全に行えるように配慮しています。状況により中止・変更することがありますのでご了承ください。

★今年の夏は図書館へ行こう！★

期間：8月30日（日）まで

内容：資料を3点以上借りるともらえるスタンプを3つ集めると、ガチャにチャレンジできます。どなたでも参加できますので、お気軽にどうぞ！

★しょうちゃんと遊びま専科

「かんたん！すごい！びっくり工作」★

日時：8月8日（土）14：00～（1時間程度）

対象：小学生以下（小学3年生以下は保護者同伴）

定員：5組 ※要申込

内容：リサイクル用品を使って動くおもちゃを作ります。参加ご希望の方は、カウンター又はお電話でお申し込みください。



※8月23日（日）10:30から予定していました「ダンボの会のおはなし会」は、検討の結果中止とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

お問い合わせ 市貝図書館 ☎68-4380

●歴史民俗資料館のイベント

★第40回企画展「中世の陶磁器の世界」

期間：8月30日（日）まで

※休館日は図書館に同じ

内容：県立博物館の中世陶磁器コレクションを中心に展示します。

お問い合わせ：中央公民館 ☎68-0020

ツイッターでも情報配信中！



市貝町立図書館『いっとくん』

@ittokun_ichikai



★開館時間について★

当面の間、9：30～17：30での開館となります。変更するときはお知らせいたします。

ホームページやtwitterでも情報を更新しています。



★一部サービスを再開しました★

感染症拡大防止策によりサービスを制限していましたが、7月より座席の利用を再開し、1階の雑誌や新聞の閲覧席・2階の閲覧席が使用できるようになりました。2階については、2時間までのご利用で、カウンターでの申し込みが必要です。

（※定期的にアルコール消毒をしています。）

図書館はたくさんの方が利用する場所です。皆さまが安心してご利用いただくために、マスクの使用・咳エチケットにもご配慮ください。スタッフもマスク着用で対応させていただきます。



★空気清浄機と扇風機が入りました★

感染症対策のため、町より空気清浄機10台・扇風機6台が入りました。エアコン使用時も定期的に換気を行いますので、ご協力をお願いいたします。



★夏休み課題図書について★

8月23日（日）までの期間、課題図書については、

- ・利用者カード1枚で1冊
- ・貸出期間は1週間
- ・延長不可（期間前に貸出でも期間中の延長は×）とさせていただきます。よろしくお願いいたします。



図書館カレンダー

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30※			

…休館日

※月末資料整理日

★芥川賞・直木賞★

7月15日、第163回芥川賞・直木賞が決定しました！
発表直後は、たくさんお問い合わせをいただきますので、
読んでみたい方はぜひ予約サービスをご利用ください。
雑誌掲載作品は出版され次第購入を検討します。
(購入準備中もあります)



芥川賞受賞

直木賞受賞

「首里の馬」

高山 羽根子 // 著
(新潮社)

「破局」

遠野 遥 // 著
(河出書房新社)

「少年と犬」

馳 星周 // 著
(文藝春秋)

候補作

「赤い砂を蹴る」

石原 燃 // 著 (文藝春秋)

「アウア・エイジ Our Age」

岡本 学 // 著 (群像2月号)

「アキちゃん」

三木 三奈 // 著 (文学界5月号)

候補作

「雲を紡ぐ」

伊吹 有喜 // 著 (文藝春秋)

「じんかん」

今村 翔吾 // 著 (講談社)

「能楽ものがたり 稚児桜」

澤田 瞳子 // 著 (淡交社)

「銀花の蔵」

遠田 潤子 // 著 (新潮社)

暑さ忘れる怖〜〜〜い本

「黒い家」

貴志 祐介 // 著
(角川書店)

お化けやゾンビができるわけではないの
にとにかく怖い。最初はまあまあ普通で
こんなものかと読み進んでいくうちにじ
わじわ怖くなってきて、最後の100頁
は恐怖の嵐。読み終わっても心臓のドキ
ドキはなかなか収まらず、まさに暑さ忘
れる一冊です。

ざっくりとですが内容はというと、保
険金गरみの殺人事件。生命保険会社に
勤務する主人公がサイコパスの人物に追
い詰められていくというストーリー。

文中に「人間は、一人一人が、まったく
違う、複雑きわまりない宇宙だとい
うこと」ってセリフがあったけど、この世
で一番怖いのは人間であるということ
をまざまざと思い知らされます。

この小説は第4回日本ホラー小説大賞
を受賞。今年の夏、是非ご一読を。

暑さ忘れる怖〜〜〜い 映画 アニメ

「シークレット ウィンドウ」

人気作家モートの前に、謎の男シューターが
現れ「自分の小説を盗作した」と詰め寄りつき
まとい始める。それからシューターに関わる者
達が、次々と命を落としていき…シューターの
目的、そして正体とは。スティーヴン・キング
原作の、謎が謎を呼びヒヤリとする結末が待
っているサスペンス・スリラー。

「学校の幽霊1〜3」



学校…それは誰しものが人生の一部として過
したことのある場所ではないでしょうか。そし
て、どんな学校にもあるとされている七不思議
の噂や、怖い言い伝えにドキドキした記憶はあ
りませんか？このDVDは、雑誌に寄せられた
読者からの恐ろしい体験談をアニメや実写で映
像化したものを収録しています。見たら呪われ
るんじゃないかと思っている方、大丈夫、この
DVDはすべてお祓い済みだそうですよ(^-^)

スタッフのおすすめ

スタッフのおすすめ

しゅうちゃんのひとりごと



過日の下野新聞に宇都宮市徳次郎町の記事が掲載されていました。読み方が「とくじら」か「とくじろう」かという興味を持つものでした。市の住居表示等審議会を設置しての読み方変更で、本年度中に市議会の議決をもらい「とくじら」で認められる予定だそうです。私も文献で調べてみたが日光に勢力を持っていた久次良氏の一族が、奈良時代末期に日光山神社からご神体を智賀都神社に勧請して祀ったのが地名の由来だそうです。日光の久次良に対して外久次良と称し、「外」をトと読むところからトクジラになったというのが定説のようです。日光街道と国道293号線が交わる付近一帯は江戸時代には宿場町として栄えたそうです。トクジロウとなったのは昭和29年の徳次郎を含む富谷村が宇都宮市に合併してからで、地元では違和感を持たれつつ66年間、公称と通称の2つの呼び名が存在していました。

このように、県内には難読地名は各所にあります。私の知り合いが住んでいるのは日光市の「荊沢（おとろざわ）」。隣町の芳賀町の「祖母井（うばがい）」なども、初めての方は読めません。我が市貝町も、初めて訪れる人は、「続谷（つづきや）」「刈生田（かりうだ）」とか「椎谷（しゅうがい）」「石下（いしおろし）」など何と読むのですか？と、時々聞かれることがあります。このように難読地名を調べてみると歴史や文化、人々の暮らしがわかって面白いかもしれません。
お問い合わせ ☎68-4380